FILM1/30
号外 JAniCA特集

■ JAniCA前代表理事、芦田豊雄氏に聞く、退任の真相

先を争って報酬を得ようとするのは間違っている。

--------本日はお出で頂きありがとうございます。JAniCAについて現在いろいろな噂がとびかっていますが、僕としてはまずは創設者である芦田さん個人の意見をうかがいたいのです。

芦田　まず現在の執行部（理事会）と僕たち（創立メンバー）との考えが基本的なところでずれているところがあって。それが問題の根本ではないかと考えています。これを検証することで、その結果、JAniCAを正常に戻すのか。それとも、JAniCAはもういいやと、次の方向へ進んでいくのか。それはまたその先の話でいいと思うのです。

--------僕がJAniCAの発起人になったのも、芦田さんがわざわざ来社されて、お話して下さったことに大きく賛同したからです。僕の知る限り、日本のアニメーションの業界というものは、性善説に則っていくというのが大前提だと信じています。それが崩れてしまったら、大変なことで。今回の事件はそうなっていくんじゃないかと心配なわけです。
改めて、JAniCAの設立の経緯を教えてください。

芦田　2006年8月、狭山市で金山明博さんの絵画展がありました。そこで金山さんを囲んで、彼の友達や虫プロ時代のみんなが集まって業界の功労者である金山さんを囲む会をやれないかっていうのが、ことのはじまりなんですよね。そこには、（旧JAniCA理事の）Kさんもいました。
　最も基本的な認識として、日本のアニメーションは今でこそ世界で評価されて、たくさんのファンがついています。これからもそれが続いていくとするならば、一番大切なものは決して"お金"じゃないと僕は思うのですよ。
これは自分を含めての事ですが、「お金より、自分の好きな仕事を一生懸命やっていれば楽しい」→「自分が満足できることが一番」、そういう気持ちが日本のアニメーションを形作ってきたと思う。それがまず最初にないと、日本のアニメーションは今後うまくいかないだろう。

今のJAniCAのメンバーに「やっぱり金でしょう!」と発言した者がいる。たしかに金がなければJAniCAは運営できない。
だけどJAniCAがお金を得るような仕事をやったとしても、メンバーまたは本人が関わる会社などが利益を得るのは最後の最後だろう。それがメンバーの中心が先頭をきって、アニメ業界としては高額な収入を得ようとするなら、それは間違っている。
JAniCAの基本はやはりボランティア。この状況の中でJAniCAを利用する事により、生計を　副収入を得ようとするならあまりに悲しい。

JAniCAに関わり「金にならない」と感じたならば「早々に手を引いてもらって結構」、これは暗黙の了解だったはず。
JAniCAに関わっても手にする収入は実費＋α。これが基本です。

私の印象としてのJAniCAはけっこう汚れちゃって、自分が中心にいただけに、そこに戻りたくないって気持ちはあるんです。これは今ではなく今後の問題なのかもしれないけど。

--------今のお話はよく分かります。ようするに、中抜きされてばかりいるから、僕らは苦労しているんですね。それなのに、仲間だと思っていた人たちが中抜きをする側にまわるのであれば問題だと思います。制作する人も管理する人も

2010.10.29. オープロダクション第2スタジオ

必要でしょうが、絵描きは絵を描いて、みんな一緒に単価を上げていきたいですね。

芦田　そうですね。我々がやろうとしたことは、アニメの現場で頑張っている人たちの「あしながおじさん」だったんですよ。例えるなら、ひっそりと、彼らが知らない間に、あんぱんとかおいしいものを、置いてきてあげる。そういうことです。自分が先頭切って儲けようという考えはなかった。

今回の若手アニメーター育成事業の騒動を通して、「JAniCAの仲間割れ」みたいなストーリーを作っている奴がいる。今回の事業が決まったところで、「仕事と金を自分たちにもよこせと、芦田のところにベテラン連中が群がって来た。」と言うストーリーを作った奴がいるんです。本当のところ そういう人（ベテラン連中）はひとりもいませんでしたね。ただ、私は今まで一緒にやってきた仲間だから、みんなで仕事を分配すればいいじゃない、ひとり一千万とかではなくてね。例えば５人でやれば、その方が楽だし。そういう考えや発言はありました。何よりも分裂することを一番避けたかったので。

--------やはり今年6月6日の総会が大きなターニング・ポイントではないかと思うのです。総会と常任理事会の流れが良くわかりません。僕の感想は「なんで芦田さん降りちゃったのよ、自分から。そんなに嫌気がさしたのかなあ？」というものでした。

芦田　実を言うと自分から降りたのではないんです。（理事だけの集会である）理事会の投票によって、私は罷免されたと言うのが事実です。「芦田をおろせと文化庁が言っている。そうしないと文化庁は今回の事業を引き上げるどころではなくて、永久にアニメ業界に金は出さん、と言っている。」そういう風に、他の理事に吹き込まれたからなんです。それじゃあアニメ業界のために、芦田に退いてもらおうかと言う判断になってしまったかと推察するのですが。

--------罷免の理由はなんなのですか？「芦田代表は不適当だ」と言うような動議があった？

芦田　(2010年5月26日に)「理事会にかけずに、文化庁に掛け合いに行った」と、それが理由です。ただ、理事会にかけずに重要事項を決めてしまうってことは、他にもたくさんあるので。例えば、予算を配分するとか、事業の人材配分をしてしまうとか、むこうも違反していることになる。

--------けっこう事業の形が決まってから、芦田さんのところへお話が上がっているわけですよね？事業の中心になった人たちも最初の企画の時から理事会に諮らないで文化庁と接していることになるのでは？

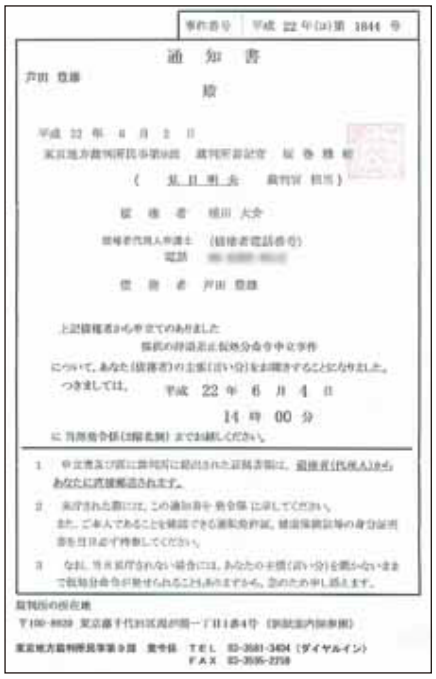
芦田　私としては、自分と親しいところ会社だけに事業をまわすとか、今まで一緒にやってきた仲間を排除して少ない人数でお金を手にしよう、という発想はまったくなかったです。私も業界で長年仕事をやってますから、アニメ業界にお金が流れてくることはいいことと思います。だから（理事会にかけないで）とりあえず進めてもいいよとは何度か電話で言いました。自分も作品を抱えていて多忙だし、他の理事も同様。仕事をすることが一番ですから。ただ、あとで修正は可能だろうとは思っていました。
しかし、事業の重要メンバー、スケジュール、予算配分、お手盛り的な個人報酬、作品の選考委員、選考方法等々……「"文化庁"がどれもこれも変更してはいけないと言っている」と現JAniCA執行部が発言したのです。

--------それで芦田さん、宇田川さんが文化庁に詳しい話を聞きに行ったわけですね。そうしたら何か芦田さんに対して法的な措置がとられたとか。

芦田　JAniCAで決めたことに対する内規に反したということで、O監査理事から私に対して「強要・背任による代表の資格停止」の仮処分命令が出されました。しかし弁護士から裁判所に対してそうした通知がなされることは、我々一般人にとっては何か法律違反を犯したかのようなプレッシャーがかかる。実際に、理事会で私の罷免に投票した人たちも、これが表に出ると私の名誉が傷つくと思って、これは罷免という形をとらざるを得ないんじゃないかという判断をしてしまった。実際はそういう内容のものでは全然なかったわけだけれども。

--------確かにわれわれ業界の人間はうぶだから裁判所が出てくるような話になればそれだけでうろたえてしまいますね。

芦田　まさに我々の仕事ぶりの弱点（描くことに夢中）をつかれましたね。我々の世界において成功するとは、どういうことかの問題でもあると思うんです。いい仕事をして、適正な報酬を得る。そういうことであって、さきほど言ったように、フィクサーをしたり、中抜きをして報酬を得たりしても、それはアニメ業界では成功した人間とは言わないんです。でも、現執行部の何人かは、それをホリエモンや投資家の村上氏が言っていた「勝ち組」だと思っている。その考えが、やっぱりアニメをダメにしてしまうと思っています。同じように「稼いでいるアニメーターは、ちゃんと制作会社と交渉して高額なお金を得ている。それができない奴はダメだ」というこれまた別なバカがいる。先ほども述べた通り、我々アニメ職人は仕事を始めてしまうと採算などまったく気にしなくなる。これが日本の職人伝統だ。これが日本のアニメをかたち作ってきた。
そのかわり交渉とかそういうことをやってあげるのがJAniCAの役目だった。JAniCAで自分が一千万得るんなら、100万で我慢して、900万をそういう人たちに回せよ、って思うのです。それが自分の考えているJAniCAです。先を争うように報酬を得ようとするのは間違っている。だから、ここのところでの「すれ違い」は埋められるのか。まあ、現在のJAniCAを牛耳っている業界外の人たちとは到底埋められる話ではないでしょう。



事件番号　平成 22 年(ヨ)第 1844 号

通　知　書

芦田 豊藤

殿

平成 22 年 6 月 3 日

東京地方裁判所民事第9部　裁判所書記官　[illegible]

（　[illegible]　裁判官 [illegible]）

[illegible]

[illegible]

[illegible]

2007.10.13.設立記者会見。芦田代表理事と宇田川一男副理事長。

--------業界人ではない人はそれとして、ベテランのアニメーターKさんの行動がよくわかりません。彼女が委任状を下さいと言うので、仲間だと思って僕は出しました。とても予想のつかないことに使われた委任状だったけれど……。

芦田　ここでもう一つ話しておかなければならないのは、文化庁に交渉に行った件で６月６日の投票により芦田・宇田川が罷免されました。でもKさんはなぜ理事じゃなくなったの？ってみなさん疑問に思っているのではないですか？この件については、他の人にも取材してほしいのですが、今回最初に採用されそうだった４本中の１本（サンライズ制作）がＫさんの原作およびキャラクター・デザインで、さらにＫさんの旦那が監督で出されていた。それはやっちゃいけないでしょうって思います。サンライズのプロデューサーの方と話している時に、業界に公募し公平、公明正大に選考すべき事業においてこの仕事に大きな権力を持つＫさん自身の応募はおかしいしインサイダー取引になりえる。そして善意で制作に関与してしまったサンライズ自身のスキャンダルにもなりえる。サンライズは「これはやりません。引き上げます。」という話になった。それで同じ理事会の場でＫさんについて動議を出して罷免されたのです。

--------芦田さんがご自身の辞める条件として、貴女も辞めろとおっしゃったわけではなかったのですね。

芦田　私が辞めたことと、Ｋさんが辞めたことは全く関係ない。たとえ、文化庁が「自分達の企画書を出してもいいよ」と言ったとしてもそうじゃない。JAniCAではだめだ。事業の内容上、アニメ業界は許さないと思うのです。自分としては、そっちの方が圧倒的に強いわけですよ。文化庁が何を言っても関係ない。そんなことをやっては、アニメ業界にJAniCAの面目が立たない、こちらの方が大切なわけですから。
同日論争になって私よりも随分若い奴にとても印象的な言葉を吐かれた。
「もっと大人になれ！」と。
公明正大、透明性を確保しなければならないJAniCAの事業に「大人になれ」とは！？
これはどういうナゾナゾだ。

しかも３５年会社を経営してきた私に向かって「大人になれ」とは（笑）
会社経営は大人にならないとできるはずがない。
しかし、JAniCAは「大人」になってはいけないはずだ。

それ以来当事業において「大人になる」とはどういう事なのかいまだに考え中ですが……。

--------業界にはいろいろな考え方を持っている人がいるわけで、少しゆるやかな集合体にしないとまとまらない、一つの形にならないと考えてはいました。いろんな人がいてもいいけど、目先の金で右往左往されては困りますね。

芦田　「アトム」以来40数年間、こういう組織はなかったわけですから、もう少しゆっくりでもいいかなと思っていたんです。５、６年かけて形になっていけばいいかなってくらいのつもりだったんです。たしかに誰でもお金は欲しいけど、それは３年４年かけて得ていけばって思っていたんです。
結果、総会では世代交代人事ということで発表されました。しかしただ一つ良いことがあったかもしれません。55歳以上が理事になれないという前例ができてしまったことです。（笑）

--------結果的にバラバラになってしまったのではアニメーターの育成どころではないので、その辺も考えてくれなかったのでしょうか。

芦田　たしかに、文化庁の仕事が取れそうな時に、Ｋさんから「金の臭いがするところに群がってくる」って言い方をされたんだけど、自分が動いて文化庁から仕事を持ってきたならば、自分の今まで言ってきたことを実践すると同時に、今まで一緒にやってきた仲間と協力しあって、仕事を分けあって、アニメ業界で流通しているレートによって利益を配分すべきである。それで、アニメ業界というのは一流の原画マンが年収300万の世界ですよ。それで一年中休みなく働いて、300万、350万で動いているわけですよ。そこでフィクサーや管理もどきをやって、それ以上の金を得るということは業界外の人間であったとしてもアニメ業界では許されないでしょう。よその国へ行ったらその国の収入に合わせるって言うのが普通で。「省庁と関わった時の自分の時給は５万である。だからアニメ業界に関わった時も５万である」っておかしい話でしょ。それが「文化庁がいいって言っているもん」って言われても、僕らは納得できません。

--------お金といえば、最初から芦田さんは事務所を提供したり、金銭面でもJAniCAを支えていますね。

芦田　（JAniCAは）最初からお金がなかったので、私がちょこちょこと大した金ではなかったのですが、活動費用を出しています。それはいずれ５、６年して戻ってくればいいかなって思っていたんです。まあ少ないお金であれ、それを放り投げるほど、私はお金持ちではありませんので、せめてそれは返してもらおうかと思っています（笑）。

最後に私と一緒に辞任の憂き目にあった副理事の宇田川は常日頃「JAniCAは友情と信頼の連鎖から成り立っている」と発言していました。この意味が判らなければJAniCAの未来は暗いでしょう。今更ですが。

--------今日は長時間にわたり、お話頂きありがとうございました。僕も解決にむけてがんばります。

2010.10.29　荻窪のオープロダクション第2スタジオで収録
聞き手/文責：なみきたかし
テキスト：四元明日香(、菅沢悦子